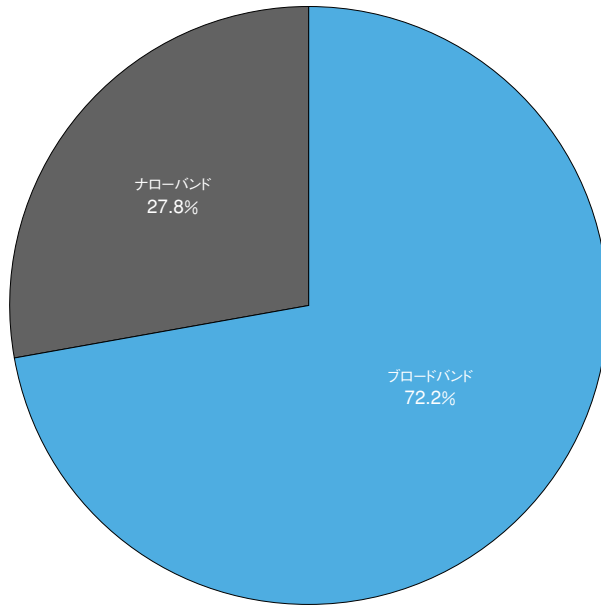


ブロードバンド比較

ブロードバンド接続構成比は7割を超える

資料 1-1-3 インターネット利用世帯におけるブロードバンドとナローバンドの構成比 [2006年] N=23,517

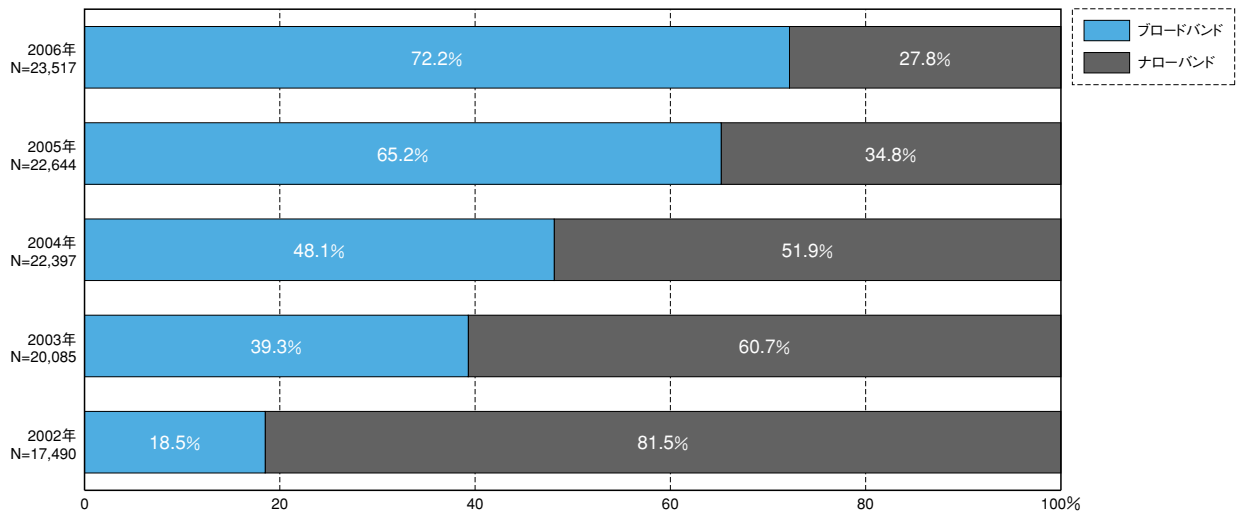


©Access Media/impress R&D,2006

「携帯電話・PHSのみ」と「勤務先・学校のみ」の利用者を除いたインターネット利用世帯23,517を対象としている。インターネット利用可能な環境が整っている世帯において、ブロードバンドとナローバンドの構成比をみたものである。ブロードバンドは7割を超え、72.2%となった。今後は、主流であるADSLから徐々に光（FTTH）に移行し、さらなる広帯域・大容量回線が利用されると思われる。

ブロードバンド世帯は前年比114.9%で鈍化傾向

資料 1-1-4 インターネット利用世帯におけるブロードバンドとナローバンドの構成比 [2002年-2006年]



©Access Media/impress R&D,2006

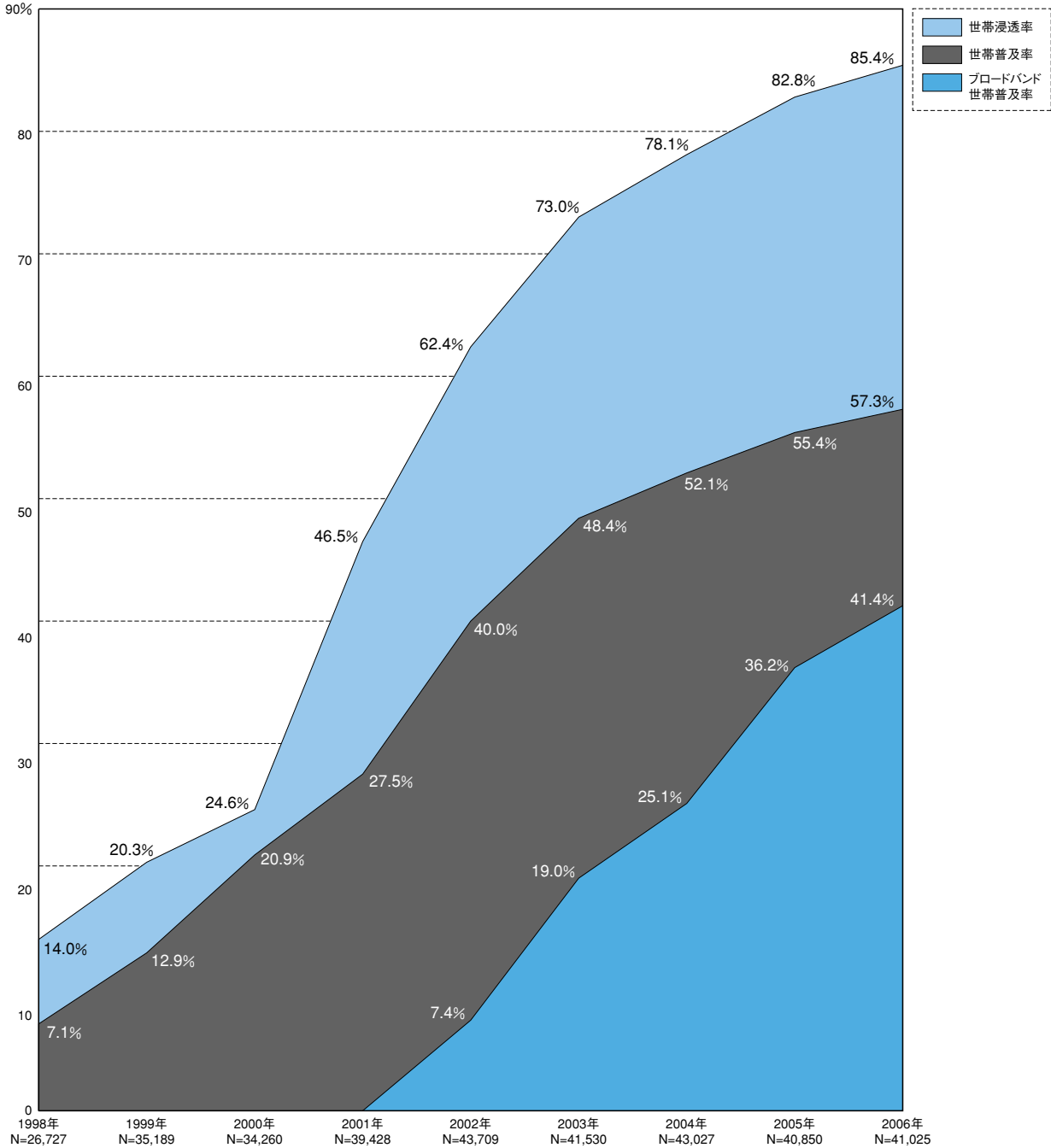
インターネット利用世帯におけるブロードバンド、ナローバンド構成比を時系列でみたものである。昨年はブロードバンド構成比率がナローバンドを初めて上回ったが、今年は72.2%で前年比114.9%と伸び率は鈍化している。ブロードバンド比率の高まりにより、今後はさらにナローバンドからブロードバンドへの移行は鈍化するものと思われるが、ブロードバンドの内容は、ADSLから光（FTTH）への移行が急速に増加すると思われる。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D

ブロードバンド比較

世帯普及率と世帯浸透率の差は今後も広がる

資料 1-1-5 インターネット世帯浸透率と世帯普及率、ブロードバンド世帯普及率の推移 [1998年-2006年]



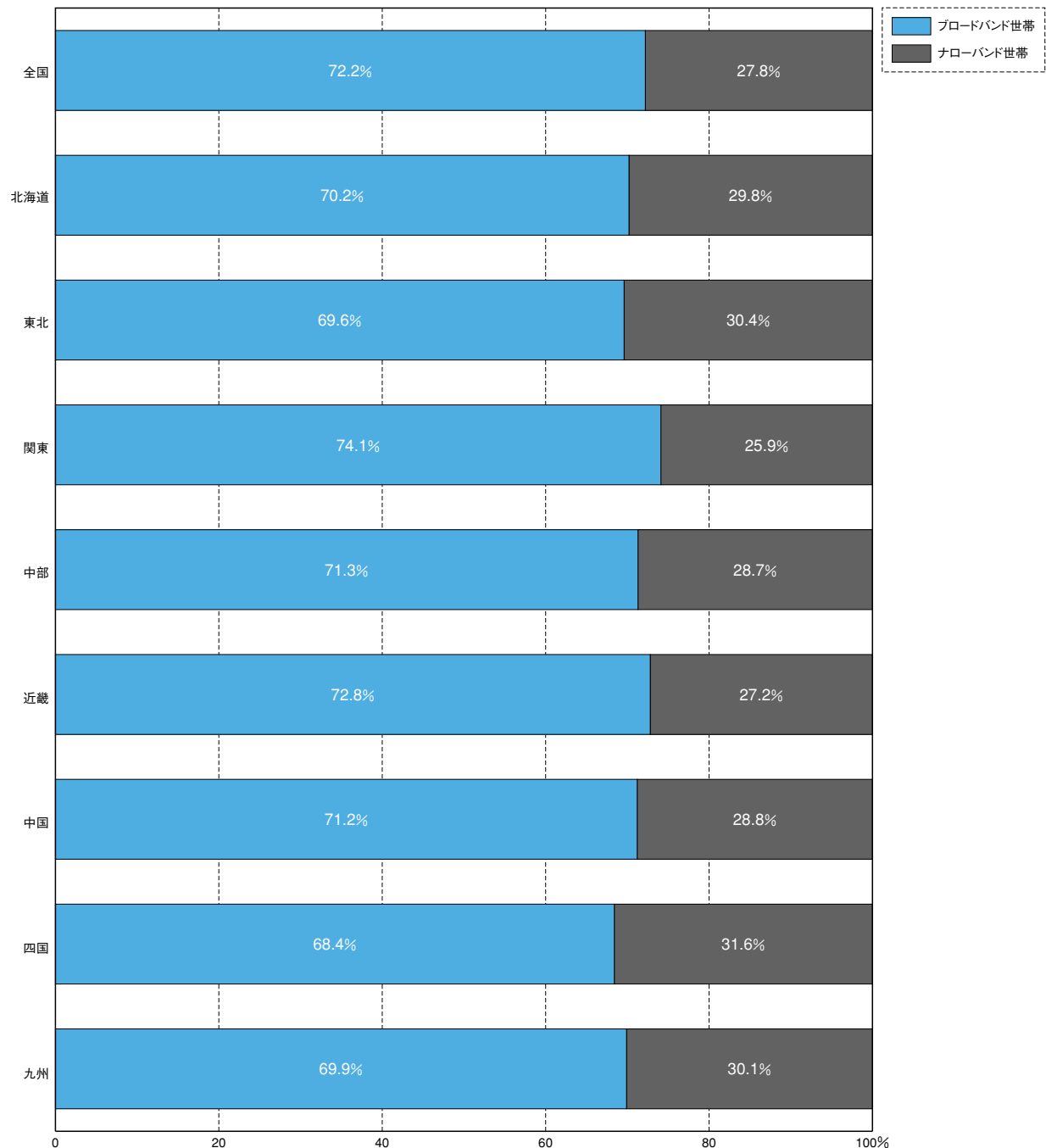
©Access Media/impress R&D,2006

回答者世帯を100として、時系列でインターネット世帯浸透率、世帯普及率、ブロードバンド世帯普及率を比較したものである。世帯浸透率と世帯普及率の差は、「勤務先・学校のみ」と「携帯電話・PHSのみ」の利用者の比率である。今年の世帯普及率と世帯浸透率の差は昨年の27.4%からさらに拡大して28.1%となり、今後もこの差は拡大していくと思われる。

ブロードバンド比較

地域格差は緩やかに縮小

資料 1-1-6 地域別 インターネット利用世帯におけるブロードバンドとナローバンドの構成比 [2006年] N=23,517



©Access Media/impress R&D,2006

地域別でインターネット利用世帯におけるブロードバンド構成比率が最も高いのは、「関東」で74.1%、次いで「近畿」の72.8%で、最も低い「四国」の68.4%と未だ格差が多少見られる。これは環境整備が未だ途上であるからと考えられるが、昨年と比較すると、「四国」は7.5%増と着実にブロードバンド比率は増加しており、「東北」、「九州」も緩やかではあるが増加しており、地域格差が縮小されつつある。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp